



# 総合教育センターだより

Be Connected

センターマスコット センタ君



平成24年2月16日(木)  
第35号(通算第118号)  
京都府総合教育センター  
TEL: 075-612-3266

## 1年を振り返り、さらにジャンプ! 初任者・新規採用者研修

初任者が1年間、また、新規採用者が6ヶ月間にわたって取り組んできた総合教育センターでの初任者・新規採用者研修がこの度、修了しました。

この1年間、勤務校において、管理職・指導教員・先輩の先生方に導かれ、仕事をとおして研修を積み重ねてきました。また、総合教育センターでは、京都府に採用された教職員として、学校教育に携わる上で必要な基礎・基本について講義や実践的な演習を通して学んできました。

センター最終講座の「教育実践講座」では、各校種・各職種の代表者が、4月からの教育実践を振り返り、将来の展望を語りました。この1年間で凛々しく頼もしく成長した先生方の姿が会場いっぱいに見られました。



2年目に向かってさらに、ジャンプ!

4月

開講式



5・6月他

教科指導  
・領域等



7・8月 京の伝統文化体験



京都伝統工芸大学校で実施

2月 実践発表



11月 防災訓練



9・10・12月

コミュニケーション



初任者の感想から

今日までいろいろなことがあった。単学級ということもあり、どんなふう  
に授業を進めればよいのか悩むことも  
あった。その中で勤務校の先生方やセ  
ンター、同期の先生方に支えられなが  
ら今日を迎えられたことに本当に感謝  
の思いでいっぱいである。今後もつな  
がり大切に日々の授業力を磨くため  
の努力をしていきたい。(小学校勤務)

## 平成24年度 「受けてみたいな、こんな講座」 決定!

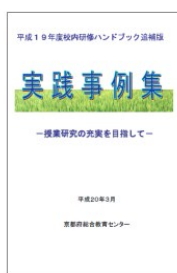
教職員のみなさんから募集していました平成24年度「受けてみたいな、こんな講座」には、15件のご応募をいただき、**府立朱雀高等学校 養護教諭 長谷川法子先生**からご提案いただいた「**ワーク・ライフ・マネジメント**」講座に決定しました。

これは、多忙化に対応して仕事の質やスピードを高め、時間を有効に活用する方法を学ぶ講座です。10月26日(金)に実施予定です。奮って受講してください。



センターホームページ  
(ITEC・京育ナビ)  
に掲載しました。

12月号、1月号で校内研修についての記事を掲載しました。その中で、各校に配布している「校内研修ハンドブック」と「実践事例集」の紹介をしていますが、今回、この両冊子をセンターホームページに掲載しましたので、活用してください。



# 単元指導パッケージ

センターホームページ  
(ITEC・京育ナビ)  
に掲載しました。

平成23年4月に各学校へDVD版でお届けした「単元指導パッケージ」を総合教育センターホームページに掲載しました。日々の授業の参考、授業研究の資料として活用してください。



「活用」の力を育てる学習指導の充実をめざして、すぐに授業で使えるノウハウをパッケージ化

☆小・中学校の国語、算数・数学の全学年・全領域から135単元、社会・英語・道徳の単元(17)と、理科の研究参考資料(14)の学習指導案を掲載

☆「活用」の力に関する評価問題例、授業で実際に活用できるワークシート等も収録

## 平成23年度「教師力向上」教育実践力継承事業 開発実践校実践発表会

2月9日(木)  
総合教育センター

開発実践校	指導顧問	研究主題
長岡京市立 長岡第七小学校	木岡 一明 名城大学大学院研究科長	教職員に求められる専門性・社会性を高め、組織の活性化を図る人材育成～国語教育の研究を中心として～
精華町立 精華西中学校	木原 俊行 大阪教育大学教授	学び意欲の向上と自らの考えを表現できる授業の創造
亀岡市立 大井小学校	山口 満 筑波大学名誉教授 中部学院大学特任教授	時代の変化と教育課題に対応する指導力の向上を図る人材育成システムと学校組織の構築
舞鶴市立 明倫小学校	笠沙 知章 京都教育大学連合教職大学院教授	教員の指導力向上を図る人材育成の取組
宮津市立 宮津中学校	榊原 禎宏 京都教育大学教授	学び意欲や規範意識の向上に向けた学級経営力の向上
府立 宮津高等学校	浅野 良一 兵庫教育大学大学院教授	校内での人材育成システムづくり「天・橋・立」～天橋師塾の活動を通して～

経験豊かな教職員の大量退職など、学校の状況は大きく変化しています。このような状況への対応として、校内での新たな人材育成方法の開発を目的とした、「教師力向上」教育実践力継承事業が平成20年度から実施されており、その実践発表会が行われました。

開発実践校の発表と各学校の指導顧問(大学研究者)の講評のあと、研究協議が行われました。それぞれの学校の工夫ある取組に対して活発な質疑応答が行われました。

この事業の成果については、「実践のまとめ」として冊子を作成の上、各学校に配布する予定です。



## ～教職員のメンタルヘルスひとロメモ～

腹式呼吸は心身のバランスを取り戻し、ストレスを軽減させる有効な方法です。一般的な方法は、まず鼻からゆっくりと静かに息を吸い、下腹部まで新鮮な空気が届くような気持ちで深く吸ったら少し止め、今度は口笛を吹くようにゆっくりと静かに息を吐きます。意識して毎日10分ほど練習してみましょう。

ストレスへの対処については、総合教育センター教育相談部(申込先: mental@kyoto-be.ne.jp)や、「教職員健康相談24」でも相談できます。

